

【福島県立喜多方東高等学校 進路講演会】

私の人生はダブルヘッダー

～視覚障がい者になって・21世紀に生きる喜多方東高のみなさんへ～

目に障害がなく生きた約70年を第1試合、障害を患った人生を第2試合として、健常者と障がい者が共に生きることの大切さを伝えます。

- 日時 平成30年11月6日（火曜日）
午後1：15～午後2：45
- 会場 福島県立喜多方東高等学校
第1体育館
- 講師 斎藤和也氏（元福島高校校長）
講師補佐 斎藤洋之氏（福島民報社・斎藤和也氏ご子息）
- 参加費 無料
- お問い合わせ・お申し込み先
喜多方東高校（担当：進路指導部）
電話：0241-22-2161



<<略歴>>

・福島北高、福島東高、福島高の各校長を歴任。退職後も教育に関する講演を県内各地で行うも、退職間近の59歳ごろに発症した緑内障の影響で、次第に目が不自由になる。現在、視野の中心が見えず、身体障害者1級の手帳を持つ。

・障がい者を取り巻く環境を改善したいと、3年前から高校生に自らの体験を伝えるため、視覚障害に関する講演活動を始める。これまでに母校である福島高を皮切りに、福島東、福島北、坂下高など、県内各地の高校や中学校をはじめ、学習センターや専門学校などで講演。

・講演活動以外にも精力的に活動し、福島東高教諭時代の教え子である福島市出身の日本画家、齋正機（さいまさき）の後援会を今年5月に発足。会長を務める。77歳。

・斎藤和也のブログ「私の人生はダブルヘッダー～元高校校長・視覚障がい者の講演記～」

<http://shikakusyogai.jugem.jp/>

<<講演内容予定>>

1. 私と喜多方東高。
2. 元高校校長として伝えたいこと。
3. 視覚障がい者になって。
4. 障がい者にとって優しい街とは。
5. 弱視者に関するビデオ上映。配布資料説明。見える障害と見えない障害。
6. 私が始めたもう一つの“こうえんかい”
7. 21世紀に生きる喜多方東高のみなさんへ
8. 質疑応答



●主催 福島県立喜多方東高等学校

●協力 福島民報社